

「学習状況調査」の結果をお知らせします

○**結果の概要** 生徒の学習環境や生活環境を把握するために、全73問からなる質問紙調査(アンケート)が行われました。次に、全国と比べて、5ポイント以上差があった事柄(質問項目)を示します。

〔本校の良さ〕 (全国を5ポイント以上、上回っているもの)

- ①「学校や勉強について、親はどれくらいあなたと話すかに対するほぼ毎日」という回答
- ②「人が困っていたら進んで助ける」に対する肯定的回答
- ③「学校に行くのは楽しいと思うか」に対する肯定的回答
- ④「自分と違う意見について考えるのは楽しい」に対する肯定的回答
- ⑤「ICT 機器を使って情報を整理することができる」に対する肯定的回答
- ⑥「ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作ることができる」に対する肯定的回答
- ⑦「1,2年生の時、考えが伝わるよう工夫して発表した」に対する肯定的回答
- ⑧「学んだことを、実生活に結びつけて生かすことができる」に対する肯定的回答
- ⑨「総合的な学習では、課題を立て調べ発表できる」に対する肯定的回答
- ⑩「総合的な学習では、ICT で、情報を整理し発表できる」に対する肯定的回答
- ⑪「学級で話し合い、解決方法を決めている」に対する肯定的回答
- ⑫「学級で話し合い、努力すべきことを決め取り組んでいる」に対する肯定的回答

〔本校の課題〕 (5ポイント以上下回った項目)

- ①「人と違う意見を言っても否定されない」に対する肯定的回答

○まとめ

今回の学習状況調査(質問紙調査)では、本校の生徒たちの優れた強みと、今後重点的に取り組んでいくべき課題が明確になりました。

本校の大きな特長として、生徒たちが安心して学校生活を送り、高い意欲を持って日々の楽しさを実感している姿が挙げられます。「学校に行くのが楽しい」「困っている人がいたら進んで助ける」といった肯定的回答は全国平均を大きく上回り、校内に温かな人間関係と高い利他心が育まれていることがうかがえます。また、保護者の皆様のご家庭で学校や勉強について日常的に会話してくださっていることも、生徒たちの大きな安心感や意欲の源となっています。日頃からの温かいご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

授業や特別活動においても、充実した成果が見られます。ICT機器を活用して情報を整理・発表する表現力や、学んだことを実生活に結びつけて考える応用力、そして学級で意見を出し合い話し合って決定・実践する主体性が確実に定着しています。自分と異なる意見について考えることを「楽しい」と感じる生徒が多いことも、素晴らしい強みです。

一方で、「人と違う意見を言っても否定されない」という項目については全国平均を下回る結果となりました。対話の機会が増え、個々の主体性が高まっているからこそ、周囲との意見の違いに過敏になったり、異論を唱えることで関係性が崩れるのではないかと不安を感じたりする側面があるのかもしれません。自分とは異なる考えや価値観を互いに尊重し合い、誰もが心配なく自分の言葉で発信できる場づくりは、今後の教育活動における重要な鍵となります。本校では、失敗や違いを認め合えるクラスづくりを推進し、多様な視点を認め合いながら共に高め合える環境づくりに努めてまいります。

以上、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお伝えしました。良い点が多く確認された一方で課題も明らかになりました。結果を全教職員で共有し、改善に向けて取り組んでいきますので、今後も本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

